

第267回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 令和3年4月19日（月） 11:00～12:20

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 5人
出席委員数 5人

（1）出席委員の氏名 小笠原 伸（委員長）
君島 理恵（副委員長）
青木 敬信
新井 啓泰
高橋 淳

（2）放送事業者側出席者 鈴木 峰雄（代表取締役社長）
佐藤 望（放送部長）
高賀茂 沙緒里（放送部）

4 議題 （1）番組の試聴及び意見交換
（2）その他
（3）次回開催日程について

5 議事の概要

（1）番組の試聴及び意見交換

2021年3月11日に放送した特別番組「JA 共済プレゼント もしもに備える防災 RADIO」について、試聴と意見交換をおこなった。

事業者：

東日本大震災から、ちょうど10年という節目に「防災・減災」をテーマに放送した特別番組。 インタビューを通して、実際に過去に県内で発生した災害について振り返りつつ、「もしも災害が起こったら」と「災害直後の暮らし」のイメージを膨らませる内容です。 備蓄食やハザードマップなど、防災・減災についての基礎知識はTVやインターネット等で広く浸透していますが、改めて「身近な災害への備え」を喚起します。

【 番 組 の 試 聴 】

委員：聴いている人に防災を意識づける内容で、構成が丁寧だった。

委員：約1時間半の長い番組を渡辺さん1人で担当しており、原稿もほとんどないというのは驚いた。
高く評価したい。

委員：自分の言葉で伝えるという点では、一生懸命なところは伝わってきた。

しかし、少し言葉使いでは違和感を感じる部分があり、もっと普段使う自然な言葉で
伝えることを意識したほうが良かったのではないか。

委員：渡辺さんの声のトーンが良かった。落ち着いた、聞きやすい声。

委員：掘りの深い番組で、ディレクターも構成などで苦労したと思う。

委員：この時期に、このような番組は必要で意味のあること。
難しい番組だが、レベルが高く出来上がっていた。

委員：重すぎず、しっかりと防災に備えようと伝える内容。その目的をしっかりと達成していた。

委員：他の放送局で制作された特番は、ステレオタイプの震災・防災番組が多い中、
独自の工夫や切り口を求めて制作された努力が見えて、好感が持てた。

委員：スポンサーもきちんとついていて、こういった放送をするのは社会貢献につながる。

委員：東日本大震災だけではなく、栃木県の台風被害や山火事などについても取り上げており、
自分自身に置き換えて聞くことができた。

委員：インタビューでは災害被害についてのデータなどを紹介してくれたので、
改めて災害の大変さを実感することができた。

委員：街の人へのインタビューが欲しかった。

委員：電気自動車を取り上げたのはユニークで良かった。
しかし、充電率の点が紹介されていなかったので、「電気自動車なら役に立つ」という
誤った理解を広げかねないと思った。
発電用のエンジンを持つ電気自動車もあるので、それを紹介しても良かったのではないか。

委員：生放送なので、メールや追悼式典の様子などをリアルタイムで紹介していて、
3. 11を上手く共有できていた。

委員：地震発生時刻に流れた曲、渡辺貞夫さんの「花は咲く」は番組に上手く溶け込んでいて良かった

委員：音楽が全体的に重くなり過ぎていなくて良かった。

委員：災害時の放送をどう聞いてもらうかなど、レディオベリーなりの防災への取り組みを紹介しても良かったと思う。

委員：震災をきっかけに地元のメディアをチェックするようになったというリスナーからのメッセージがあったが、その部分をもっと掘り下げてほしかった。

委員：リスナーからのメッセージにあった震災時の恐怖の伝え方は、デリケートな部分だが、必要だと思う。それを最後に紹介しており、きちんとバランスを考えた番組になっていた。

委員：篠笥の話は、インパクトがあるだけに注意が必要。もう少し伝え方を工夫したほうが良かった。

委員：メールの選択も的確だった。その場面に応じてメールを紹介していた。

委員：番組の趣旨を理解してメールを送るリスナーを育てていくことも今後大事になってくる。

委員：リアルタイムで聞くことができなかった人に向けて、内容についていつでも見る事ができる状態にしておくのはどうか。アーカイブとしてホームページに載せてても良いと思う。

委員：だんだんと、東日本大震災の記憶がない若者が多くなってくる。
今後、震災を体験した方の記憶をどう残していくか大切になる。

委員：災害時、非難が困難である高齢者、障害者、非難困難地域の在住者についての指摘も欲しかった。

委員：災害ボランティアは、やったことのない人にとってはハードルが高い。
実際に体験した人の話もあったら良かった。

（以上）

（2） その他
なし

（3） 次回開催日程について
次回の開催を5月17日（月）とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日
なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日
(1) 放送 4月25日（日）午後 7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内
(2) 書面 本社事務所に備え置き
(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項
なし